

# 令和 3年度予算見積調書

課室名：農業ビジネス支援課  
 担当名：販売対策・6次産業化担当  
 内線：4106 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
B18	埼玉ブランド農産物推進事業			一般会計	農林水産業費	農業費	食品流通対策費	埼玉農産物ブランド化推進事業費			
事業期間	令和 3年度～ 令和 7年度	根拠法令	なし				宣言項目	09 儲かる農業の推進	SDGsゴール 2		
							分野施策	040937 強みを生かした収益力ある農業の確立	SDGsターゲット 2-4, 2-3		
1 事業概要	<p>県民の豊かな食生活を支え、生産者の経営安定と所得向上を実現するためには、埼玉ブランド農産物を創出し、安定した価格と需要の拡大を図りつつ販売していく必要がある。</p> <p>そこで、県が育成した品種を中心にブランド力の強化を図るとともに、県産農産物の販売促進に取り組み、実需者や消費者から広く認知されることで、県産農産物の需要を拡大する。</p> <p>(1) 県産農産物販売戦略推進事業 760千円                  (2) 県産農産物ブランド力強化事業 2,686千円                  (3) 県産農産物情報発信強化事業 3,772千円                  (4) 県産農産物販売促進事業 2,105千円</p>			5 事業説明							
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)				<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 県産農産物販売戦略推進事業 760千円                  埼玉県産農産物の総合的な販売対策を検討するとともに、ブランド化を戦略的に取り組む体制を整備する。</p> <p>イ 県産農産物ブランド力強化事業 2,686千円                  県が育成したオリジナル品種を中心に、他産地との差別化ができる商品づくりによるブランド力の強化を図るとともに、販売促進活動を通じて付加価値化を図る。</p> <p>ウ 県産農産物情報発信強化事業 3,772千円                  ポータルサイトやSNSなどの各種デジタルツールを有効活用した情報発信を強化するとともに、ロコミキャンペーンを実施することにより、県産農産物の認知度向上と購買意欲の促進を図る。</p> <p>エ 県産農産物販売促進事業 2,105千円                  県産農産物の認知度向上と消費拡大を図るために、関係機関等と連携し、農産物直売所や駅、量販店等におけるプロモーションを行う。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 埼玉農産物販売対策会議の開催 2回                  イ いちごの生産販売戦略の策定、イメージアップセールスの実施 1回                  実需者、消費者を対象とした求評会の開催 (いちご2回、梨2回)                  ウ ポータルサイトの改修、SNS等を活用した情報発信 200回                  エ 直売所や駅、量販店等での販促キャンペーンの実施 50回</p> <p>(3) 事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いちご「あまりん」の認知度 令和7年度 50%以上</li> <li>彩玉の販売単価(等級7玉以上) 令和7年度までに 10%アップ</li> <li>埼玉農産物ポータルサイトの月平均アクセス数                      令和元年度 6,775件/月(令和元年を除く過去5年間平均14,701件) → 令和7年度 20,000件</li> <li>埼玉農産物の認知度向上 令和元年度 31.1% → 令和7年度 44.6%</li> </ul>							
3 地方財政措置の状況 なし											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500円×2.5人=23,750千円											
財 源 内 訳											
予算額		諸収入								一般財源	前年との 対比
決定額	9,323	630								8,693	1,188
前年額	8,135	630								7,505	